

# 広島県のDXの取組について

2024年2月

広島県総務局DX推進チーム

政策監 永井 匠

# 本日の流れ



- 1 広島県の目指すDX
- 2 広島県内の取組状況
- 3 広島県のDX推進に向けた取組
- 4 おわりに

# 1 広島県の目指すDX（DXの定義）

- DXには様々な定義が存在

## スウェーデンのウメオ大学 エリック・ストルターマン教授

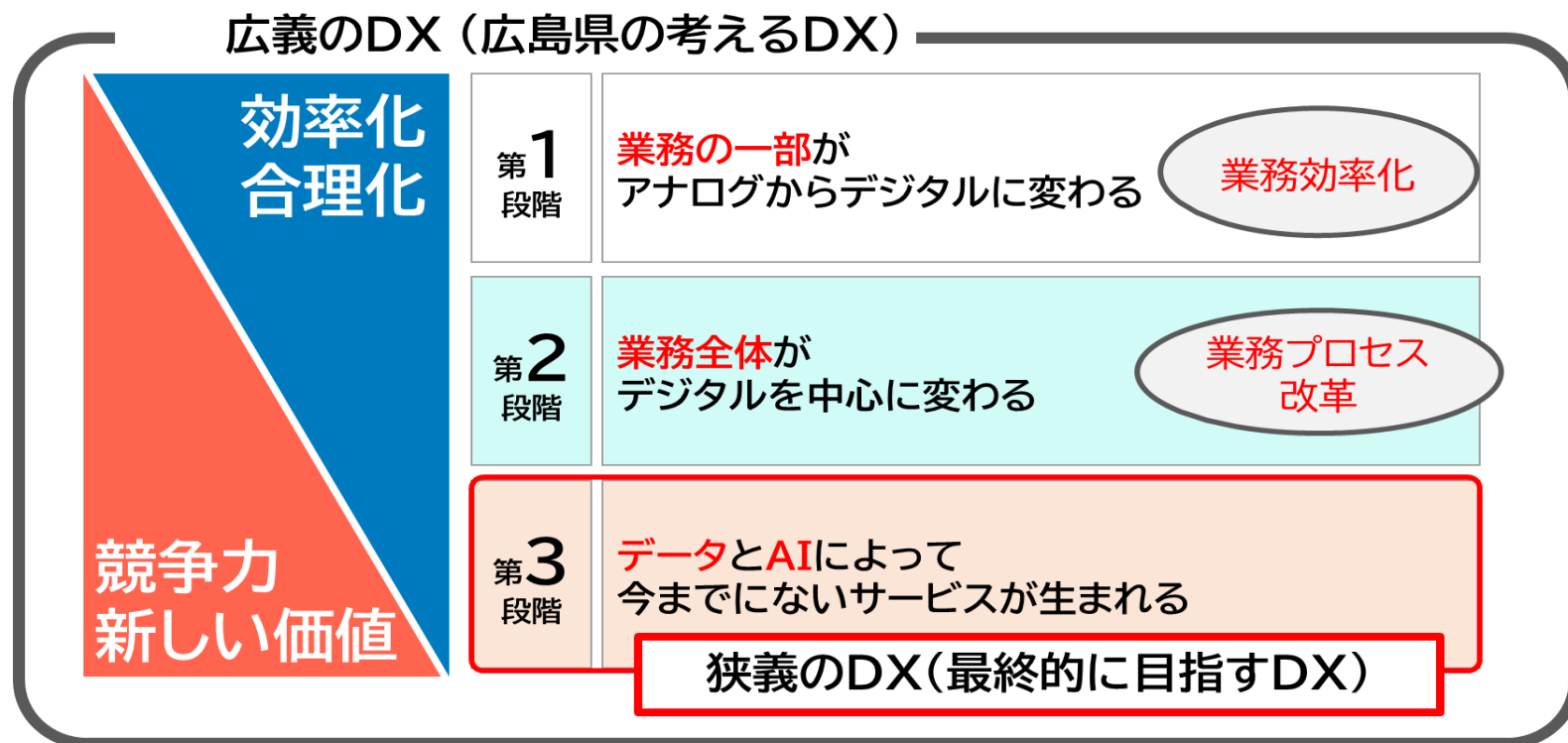
「デジタル技術が浸透することで人間の生活のあらゆる面で引き起こす、あるいは良い影響を与える変化」

## 経済産業省

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

# 1 広島県の目指すDX（広島県の定義）

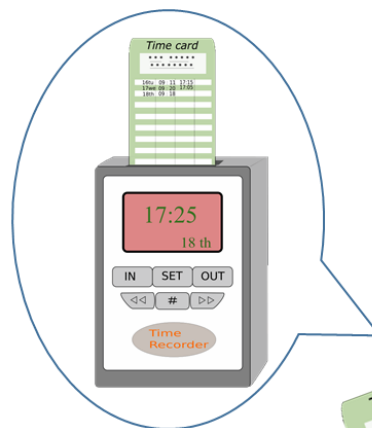
- 「デジタル技術を活用して、県民生活に関わるあらゆる分野（仕事、暮らし、地域社会、行政）において、ビジネスモデル、オペレーション、組織文化などの在り方に変革を起こすことによって、新たな価値を生み出し、県民の暮らしを豊かにすること」
- これにより、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県を実現。



# 1 広島県の目指すDX（DXの第1段階）

## 第1 段階

業務の一部をデジタル技術により効率化している。  
途中にアナログ（紙など）があることで、人が入力や編集をする作業が残り、  
ボトルネックが存在。



# 1 広島県の目指すDX（DXの第2段階）

## 第2段階

プロセスの最初から最後までがデジタル技術によってデータがつながり、人が判断するプロセス以外は自動化され、最適化。



打刻データがクラウドへ

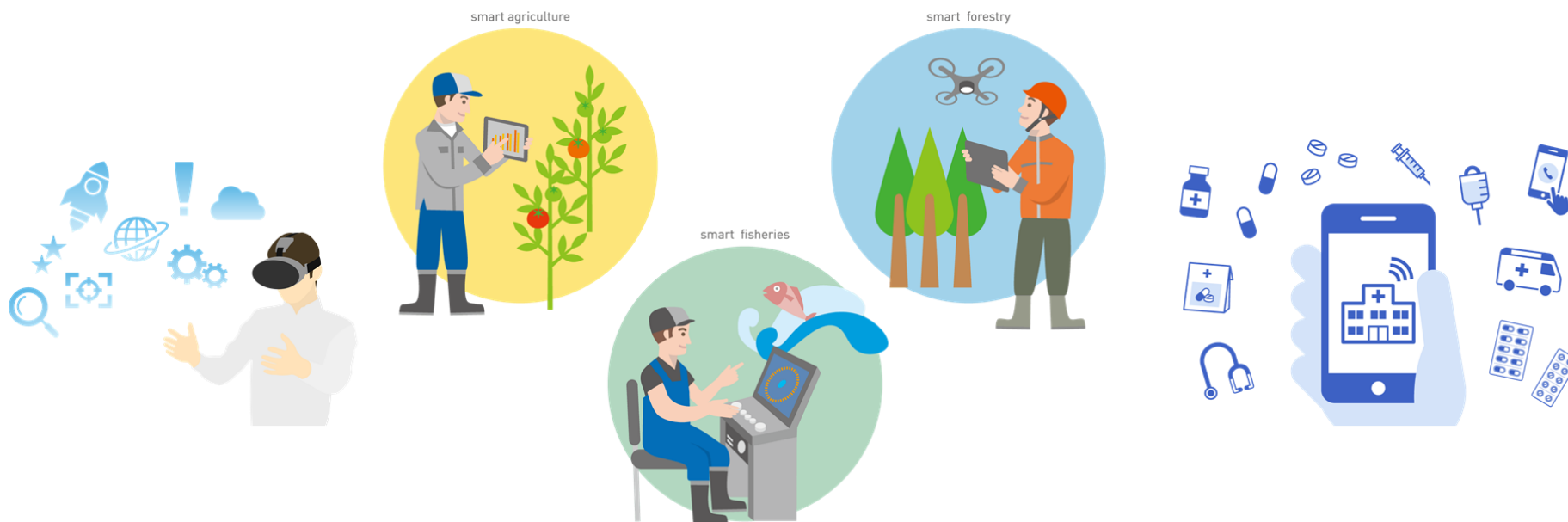


人事担当者がチェック

# 1 広島県の目指すDX（DXの第3段階）

## 第3 段階

第1段階や第2段階で蓄積したデータと、AIを活用して、  
人では実現できなかったことができるようになり、今までにないサービスが誕生。

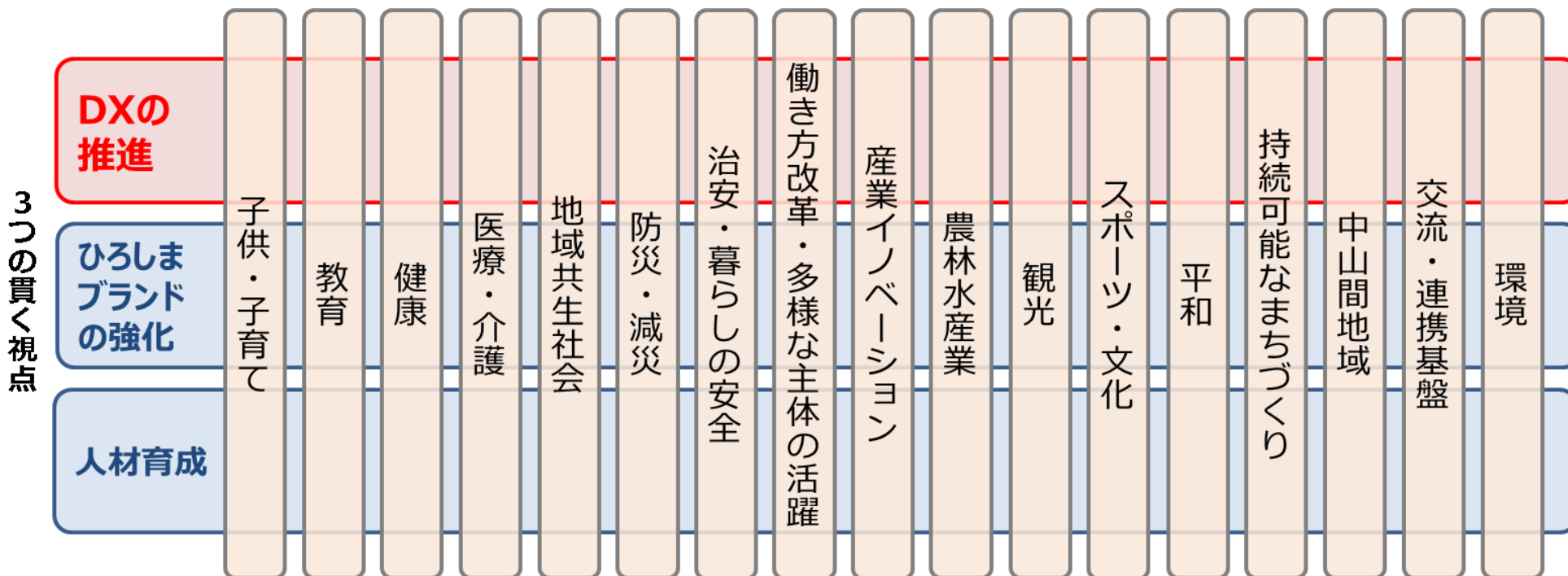


# 1 広島県の目指すDX（貫く視点のDX）



県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により，夢や希望に「挑戦」しています  
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

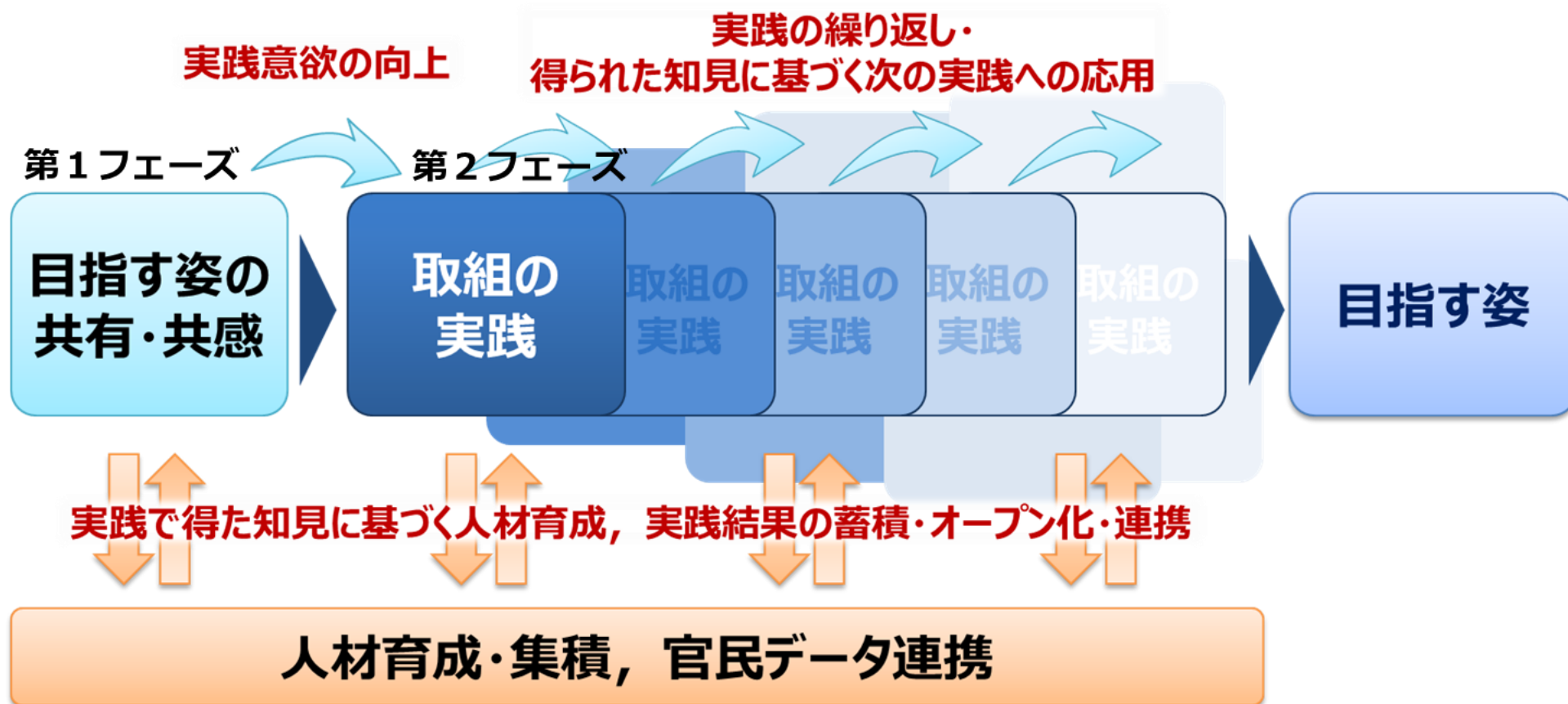
「DXの推進」を，全ての施策を貫く視点の1つとして位置付け





# 1 広島県の目指すDX

- 広島県の目指す姿を共有し、各主体がその実現に向けて取組の実践を小さな単位で繰り返し、その成功や失敗の経験を活かしながら、目指す姿を実現していく。



# 【参考】 令和6年度の広島県のDXの取組

## 《令和6年度》 70事業 約90億円

※総合技術研究所の取組  
はここに含まれます

### 仕事・暮らしDX

#### 産業イノベーション

＜デジタル系企業・人材＞  
・産学官連携、リスキリングの推進、AI基礎教育などにより人材育成を図る。  
・デジタル系企業の誘致及びDX推進など設備投資に対する支援



#### 働き方改革

＜人的資本経営＞  
・人的資本経営の推進に有益な情報を発信するポータルサイトの整備



#### 農林水産業

＜スマート農林水産業＞  
・ひろしま型スマート農業技術確立に向けた実証実験  
・操業の効率化に向けたICT高度技術の実証



#### 子育て

＜早期把握・早期支援＞  
・子供の育ちに関する様々なデータをシステムにより集約・分析し、虐待リスクの高い子供等の見守り・支援を実施



#### 介護・障害福祉

＜介護・障害福祉業務の負担軽減＞  
・介護・障害福祉サービス事業所へのデジタル技術・ロボットの導入支援



### 地域社会DX

#### 中山間

＜生活環境の向上＞  
・デジタル技術を活用して、中山間地域の生活環境向上に取り組む市町を支援



#### 交通

＜広島型MaaSの推進＞  
・交通と生活サービスをひとつのサービスとして提供



### 行政DX

#### 行政のデジタル化

＜電子申請・電子納付＞  
・申請から手数料などの支払いまで、行政手続をオンライン化



#### インフラマネジメント

＜データの一元化・オープンデータ＞  
・インフラマネジメント連携基盤「DoboX」による各種データを共有・活用しながら様々な取組を推進



**DoboX**  
インフラマネジメント基盤

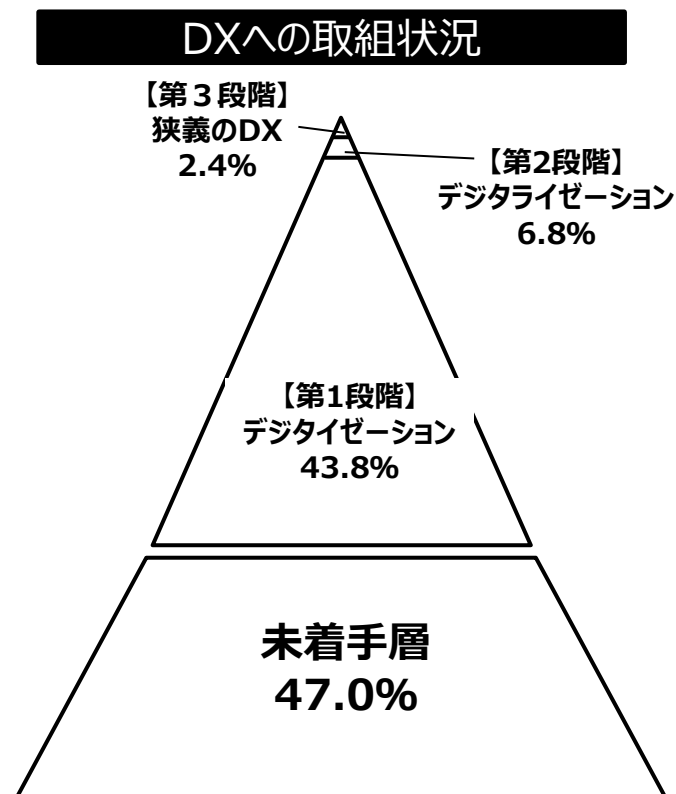
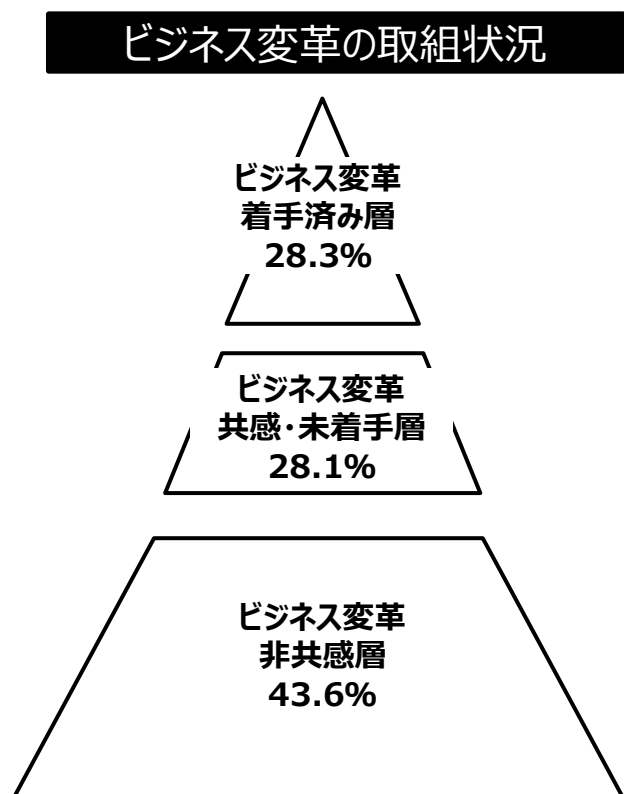
# 本日の流れ



- 1 広島県の目指すDX
- 2 広島県内の取組状況
- 3 広島県のDX推進に向けた取組
- 4 おわりに

## 2 広島県内の取組状況（実態調査の結果）

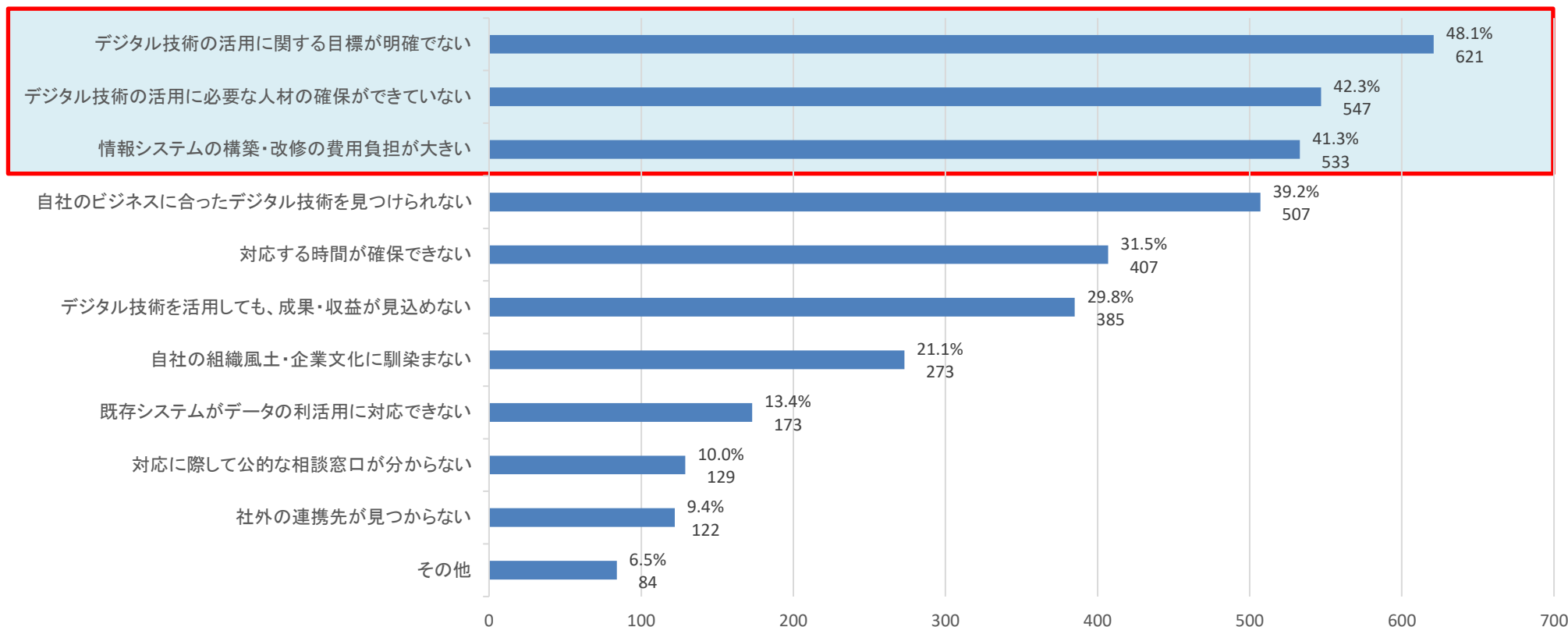
- 県内の民間事業者のうち、「28.3%」がデジタル技術活用を含めたビジネス変革に取り組んでいる（ビジネス変革着手済み）と回答。（R3年度（前回調査）の結果と同様）
- また、約半数の民間事業者がDXに取り組んでいるが、その多くが「【第1段階】デジタイゼーション」（43.8%）であると回答。



（出典）広島県（2023）「DXに関する実態調査」

## 2 広島県内の取組状況（実態調査の結果）

- DXの取組を進めるにあたっての課題としては、「デジタル技術の活用に関する目標が明確でない」（48.1%）で、「デジタル技術の活用に必要な人材の確保が出来ていない」、「情報システムの構築・改修の費用負担が大きい」が続いている。



# 本日の流れ



- 1 広島県の目指すD X
- 2 広島県内の取組状況
- 3 広島県のD X推進に向けた取組**
- 4 おわりに

### 3 広島県のDX推進に向けた取組（DX加速プランの策定）

- デジタル投資と人材確保・育成を促す好循環（エコシステム）を生み出すためには、①デジタル投資の促進、②人材育成の促進、③環境整備、の3つの柱が重要。

本県が持続的に成長し、地域間競争で優位に立ち続けることで魅力を高め、さらに成長する好循環を生み出す



### 3 広島県のDX推進に向けた取組（主な取組の方向性）

▶ 県内の民間事業者等がDXに着手し試行錯誤できる状態を作り出すためには、「DX共感・未着手層」に対し、着手への障壁を整理したうえで、DXの取組着手に向けた支援を強化・拡充

#### 柱1 デジタル投資の促進

##### ① DXのステップアップ促進

- ★ 実証・実装フィールドの提供  
(ひろしまサンドボックス事業等)
- ★ 企業誘致 など

##### ② DXの取組着手に向けた支援

- ★ 伴走支援  
(課題発見、ツールの有効活用)
- ★ 地域の支援機関の強化 など

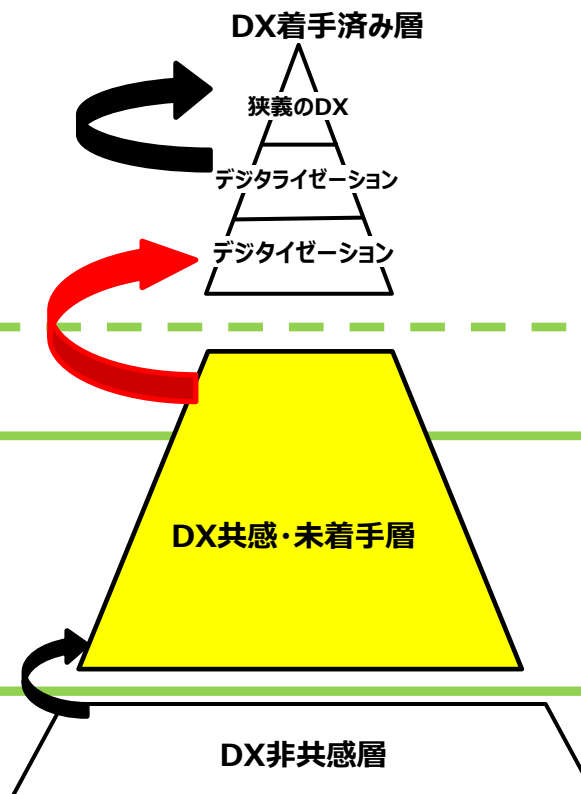
#### 柱3 自律的な取組の実践を支える環境整備

高速通信網の整備, 安全・安心なデジタル活用支援, DX推進を支えるデジタル企業が活躍できる環境整備 等

#### 柱2 人材確保育成の促進

##### ③ デジタル人材の確保・育成

- ★ 組織全体のリテラシー向上  
(みんなのDX研修)
- ★ デジタル人材の確保・定着  
(大学との連携)
- など





### 3 広島県のDX推進に向けた取組（令和5年度の取組）

- 令和5年度は、主に「共感・未着手層」を対象として、「**伴走支援等による着実な実践を促す取組（直接支援）**」と「**実践が容易な取組の横展開の促進に向けた取組（間接支援）**」の両面のアプローチを実施。
- また、こうした取組を**地域の支援機関（商工会や商工会議所、金融機関、税理士など）と連携**するとともに、実践支援スキルの向上に向けた研修等を通じて支援機能の強化を図り、**支援機関を通じた面的な取組の拡大につなげていく**こととしている。

伴走支援等による  
着実な実践支援  
（直接支援）

課題の整理から取組の実践までを後押し

○ DX実践道場

✓ 伴走支援を通じたモデル事例の創出

実践が容易な取組  
の横展開の促進  
（間接支援）

理解・実践意識の醸成

○ 経営者向けセミナー

✓ 経営者へのDX実践意識の醸成

○ 事例研究会

✓ 優良事例をもとに、DXの実践に向けた手がかりやきっかけの提供

支援機関の  
機能強化

○ 支援機関向けのDX研修

✓ デジタルリテラシーや支援スキルの向上

ツール作成による後押し

○ 取組事例集

✓ 実践が容易な取組を体系的に整理

○ 簡易診断ツール

✓ 自社の課題や課題解決に向けた支援策等を簡易的に診断

DXに取り組みむ民間事業者の拡大

### 3 広島県のDX推進に向けた取組（経営者向けセミナー）

- DXの成功体験を持つ経営者による講演やDX実践道場の成果発表等を実施。



DX推進に悩む経営者様必見  
第2回経営者向けセミナー

**本気で変えるならいま！  
事業を成功に導くDXとは**

2024  
**3.27** WED  
13:30-15:30  
広島コンベンションホール  
／オンライン配信

DX実践道場  
参加事業者  
(調整中)

経営者特別講演

DX実践道場成果発表  
パネルディスカッション

参加 無料

事前 予約制

DX推進の ヒントが 見つかる

有限会社あびや  
／株式会社EBILAB  
代表取締役社長  
小田島 春樹 氏

株式会社丸薬製作所  
専務取締役 本部長  
戸松 裕登 氏

広島県知事  
湯崎 英彦

セミナーの詳細や  
お申込みはこちら →→→→



# 3 広島県のDX推進に向けた取組（経営者向けセミナー）

13:30-13:55

経営者特別講演 ①

## 伊勢の老舗食堂「あびや」の事例

### ～老舗企業がどうDXを実現し変革をなしとげたのか～

伊勢の老舗食堂「あびや」はどのようなステップで必要な技術を取り入れ、チーム組成をし、データを基に考える経営を成し遂げたのか。従業員を増やさず売上8.5倍、利益80倍以上を実現した背景と経営術、あびやで実際に行っているデータ活用法をお伝えします。

登壇者



小田島 春樹 氏

有限会社あびや/株式会社EBILAB 代表取締役社長

北海道出身。大学卒業後、ソフトバンクグループ株式会社入社。2012年に妻の実家が営む「あびや」に入社し、店長、専務を経て同年に妻の実家の食堂あびやを継承し、代表取締役社長に就任する。2018年に第二創業でデータ分析事業のEBILABを創業、啓蒙、教育活動を通じてサービス業へのデータ分析、テクノロジー活用の拡大を目指す。同社の代表取締役CEO、Microsoft MVP [AI部門] 連続受賞、第3回日本サービス大賞「地方創生大賞」、グレートカンパニニアワード2019「ユニークビジネスモデル賞」受賞など他多数受賞。

13:55-14:20

経営者特別講演 ②

## 技術を出品する製造業のフリマサイト、ASNAROによって目指すもの

モンづくりの町、愛知県の下請け町工場、株式会社丸菱製作所が立ち上げた、製造業の受発注プラットフォームASNARO（アスナロ）。町工場のためのプラットフォームとは？そしてプラットフォームによって目指す町工場の姿はどのようなものか？中小企業、ITに苦手な製造業が取引のDXに乗り出す際に現れるいくつかの壁を乗り越えた経緯。新しいことに取り組むことによって生まれる様々なメリットを語ります。

登壇者



戸松 裕登 氏

株式会社丸菱製作所 専務取締役 本部長

愛知県春日井市にて1953年創業の金風加工業、丸菱製作所の三代目アトツギ。早稲田大学教育学部卒業後、家業である丸菱製作所に入社し、技術営業、新規事業部の業務を通じ、サプライヤーとしての仕事を学ぶ。一方で日本の製造業の枠組みの継続性を感じ、加工ソリューションを商品として工場間でシェアを行う技術のECサイト、ASNARO（アスナロ）を立ち上げる。同事業において十六銀行系21回NOBUNAGAZI「優秀賞」、日本青年会議所第7回価値デザインコンテスト「経済産業大臣賞」などその他多数受賞。「技術を再評価し、子供に継がせたいと思える業界をつくる」をテーマに邁進。

14:30-14:50

DX実践道場成果発表

DX実践道場に参加した事業者が取り組んだプロジェクトの内容や成果などについて発表します。

登壇者

DX実践道場参加事業者（調整中）

14:50-15:30

パネルディスカッション

DX実践道場参加事業者や広島県知事がデジタル技術を活用した課題解決までの道のりや今後のビジョンについてディスカッションします。

パネラー



DX実践道場  
参加事業者  
(調整中)



湯崎 英彦  
広島県知事

ファシリテーター



荒瀬 光宏 氏

株式会社デジタルトランスフォーメーション研究所  
代表取締役

### 3 広島県のDX推進に向けた取組（事例研究会）

- DXの取組事例から「成功と失敗」を学び、DXの第一歩を踏み出す「きっかけ」が掴める無料セミナー。
- 「ChatGPT」を活用したワークショップ（現地のみ）では、講演や「ChatGPT」から出されるアイデアをもとに、「明日から自社でできること」を検討。

日時 **2024 / 3 / 5 火** 14:00～16:00

第6回事例研究会



事前申込制 参加無料

小さな工務店における

**ダイバーシティ経営の取組とDX戦略**

－ デジタルを活用した技術承継と女性が活躍できる働き方改革 －



事例企業紹介

有限会社ゼムケンサービス

代表取締役

こもりた

**籠田 淳子 氏**

**「ChatGPT」を活用したワークショップ**を実施

ChatGPTの活用に興味のある方や、ChatGPTをビジネスに活用したい方にもおすすめです！

セミナーの詳細や  
お申込みはこちら



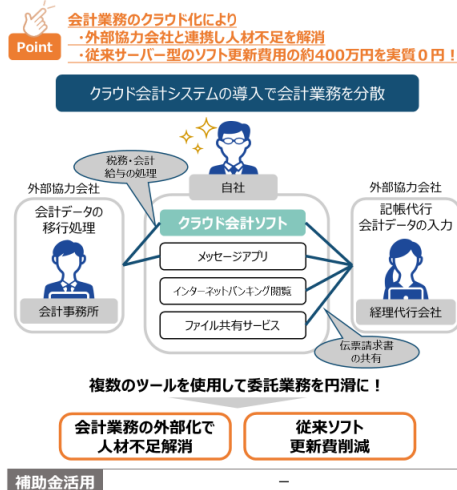
過去のセミナーの  
アーカイブ動画も配信中！

# 3 広島県のDX推進に向けた取組（取組事例集）

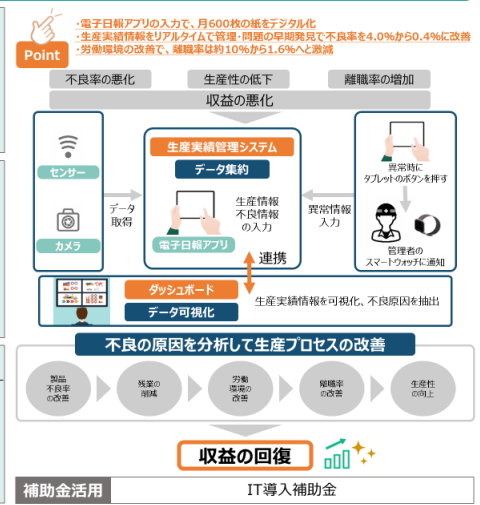


- DXに着手する際の参考やきっかけとなるよう、実践が容易な取組事例を全国から収集し、事例集を作成。
- 課題や業種など、用途に応じた検索ができる。

企業情報	万印印刷株式会社 業種：製造業 従業員規模：10～49人	課題分類	業務プロセスの効率化 人手の確保・育成	DX実践の目的	バックオフィス
<span style="float: left;">第一段階</span> <span style="float: right;">第二段階</span> <span style="float: right;">第三段階</span>					
<b>会計業務のクラウド化で、人材不足解消＆コストカットを実現！</b>					
課題内容	<p>○印刷会社で企業・団体向けの伝票や封筒、報告冊子などの事務印刷を手掛けている。会計担当者が退職したことで、後継者の確保が必要となり新たなパートの採用を検討したが、早急な人材確保が困難で会計業務の継続性に課題があった。</p> <p><b>Point</b> 会計業務のクラウド化により                  ・外部協力会社と連携し人材不足を解消                  ・従来サーバー型のソフト更新費用の約400万円を実質0円！</p> <p style="text-align: center; background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px;">クラウド会計システムの導入で会計業務を分散</p>				
実施概要	<p>○会計業務自体を分散処理し、外部の協力会社に業務委託をすることを前提として、製造業の会計にも対応し、会計・給与・マイナンバー・税務の機能が揃ったクラウド会計ソフトを導入した。</p> <p>○クラウド対応が可能な会計事務所・経理代行会社と契約し、会計事務所には会計データの移行処理、経理代行会社には記帳代行と会計データの入力をそれぞれ委託した。</p> <p>○クラウド会計ソフトだけでなく、データをファイル共有サービスで共有し、インターネットバンキングやメッセージアプリを使用して自社・会計事務所・経理代行会社の3者で会計業務を分散して処理を行った。</p>				
効果	<p>○会計業務の外部化を実現したことで、会計業務を代表者1名で1日30分程度で完結できるようになり、人材不足という喫緊の課題を解決した。</p> <p>○従来のサーバー型ソフト(オンプレミス)では更新に400万円以上かかっていたところ、クラウド化によりソフトの導入費用が実質0円になった。</p>				
ITツール	【使用ツール】A-SaaS <a href="https://a-saas.com/">https://a-saas.com/</a> 【取組む企業】freee株式会社 <a href="https://corp.freee.co.jp/">https://corp.freee.co.jp/</a> 【ツール概要】税務・会計・給与・財務・経営のオールインワンクラウドシステム				



企業情報	三井屋工業株式会社 業種：製造業 従業員規模：100～299人	課題分類	生産プロセスの改善 社内の働き方改革 人手の確保・育成	DX実践の目的	サプライチェーン
<span style="float: left;">第一段階</span> <span style="float: right;">第二段階</span> <span style="float: right;">第三段階</span>					
<b>製造現場の見える化で、製品不良率の改善と収益回復</b>					
課題内容	<p>○自動車用の内外表部品を製造しているが、不良品が多いことによるコスト増加や製品不良率を改善するための残業増加で、収益悪化の課題を抱えていた。</p> <p>○紙ベース上かかっていた不良率が2%程度だった。生産データによる実際の不良率は4%以上であり、正確な製品不良率を管理・把握できていなかった。</p> <p>○紙の日報を用いて作業工程管理を行う中で様々な問題を抱えていた。(集計ミス・書き漏れ・書き間違い・他国籍の従業員が書いた言語が読めないなど)</p> <p>○会社の経営状態に不安を感じた従業員が離職し、現場の生産性低下、不良率がさらに悪化するという状態になった。</p>				
実施概要	<p>○製造現場を客観的・定量的に把握するため、ソースコードをほとんど使わずにシステム開発できるローコードツールに着目し、日報を電子化して現場状況の見える化を行った。</p> <p>○電子日報アプリの日報やセンサー、カメラから取得できたデータ（生産情報、不良率情報など）を生産実績管理システムに集約し、集約情報を基に稼働状況・ロス要因分析や「工程別・品番別・作業番別」の項目で確認し、改善の優先順位付けを行った。</p> <p>○生産実績管理システムで集約した情報を、生産進捗の可視化のためダッシュボードと連携し、計画の進捗状況を関係者間で共有した。</p> <p>○異常時に作業者がタブレット上のボタンを押すことで、管理者のスマートフォンに異常発生時の連絡が届き、その情報を生産実績管理システムに投入し、データの紐づけを行うことで、迅速な対応が可能になった。</p>				
効果	<p>○月600枚の紙をデジタル化し、日報の集計は自動化され、転記ミスがなくなった。現場では生産情報や不良情報が集約され、生産状況を管理できるようになり、異動が早い早見発見、対応することができるようになった。不良率は4.0%から0.4%へ改善した。不良の原因が分析できるようになったことで、改善・再発の防止に繋がった。</p> <p>○不良率を改善するために残業が発生していたが、労働環境が改善され、離職率は約10%から1.6%へと激減し、収益が回復した。</p> <p>○現場のデータを見える化したことで、従業員に新たな気づき生まれた。労働環境の改善に伴い従業員間のコミュニケーションが増加したこともあり、その気づきを従業員間で共有し、モチベーションの向上にも結び付いた。</p>				
ITツール	【使用ツール】HiConnex <a href="https://www.hiconnex.jp/">https://www.hiconnex.jp/</a> 【取組む企業】パシフィックホールディング株式会社 <a href="https://www.pasific-hd.com/">https://www.pasific-hd.com/</a> 【ツール概要】作業日報を電子化、KPIの把握、生産実績をベースとした管理が可能				



3月末公開予定

### 3 広島県のDX推進に向けた取組（簡易診断ツール）

- 自社がDXを進める上での課題等を客観的に診断し、診断結果に応じて、課題解決の参考となる取組事例や国や県、市町等が提供している補助金や相談窓口等の支援メニューを提示するツール。
- 診断時間はたったの5分。誰でも気軽に診断できる。

#### 診断結果、参考事例の例



「生産プロセスの改善」に課題があります

生産管理システムを導入してみてはいかがでしょうか。製造現場の納期・在庫・進捗・コストなどの情報が可視化され、最適化の助けになる可能性があります。

参考事例  
**01**

社内の業務効率化と企業間データ連携で受注機会増大！

詳しくはこちら

POINT

- 引き合い、受注、生産、在庫の状況をリアルタイムで共有、4年間で黒字化、受注生産型のビジネスモデルへ転換
- 企業間クラウド連携で、引き合いが年間30件、成約15件に増大

取り組みイメージ

業務の属人化 情報共有が不十分 自社単体で受注できない案件があった

顧客企業 受注窓口企業(本社) 事業所A 連携企業

クラウド型ITツール コミュニケーション機能

データ共有 上記分野や異業種連携など

生産管理システム 生産管理システム 生産管理システム

受注後の生産進捗管理を共有 業務アプリツール

データの見える化と情報共有の改善 同業他社との連携で受注数UP

#### 支援メニュー提示の例

#### ITツール

使用ツール	<a href="#">kintone &gt;</a>
取り扱い企業	<a href="#">サイボウズ株式会社 &gt;</a>
ツール概要	データ共有に利用されるクラウド型ITツール
使用ツール	<a href="#">コンテキサー &gt;</a>
取り扱い企業	<a href="#">株式会社アプストウェブ &gt;</a>
ツール概要	生産工程の管理アプリが作成できるノンプログラミング開発ツール

#### 補助金活用

東京都

#### 同様の課題解決に参考となる補助金

中小企業振興事業助成金	<a href="#">詳細 &gt;</a>
デジタル投資促進資金	<a href="#">詳細 &gt;</a>
IT導入補助金2024 通常枠	<a href="#">詳細 &gt;</a>

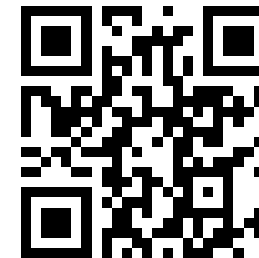
[もっと見る >](#)

3月末公開予定

## 【参考】「ひろしまDX」特設ポータルサイト

- この他、最新情報は特設ポータルサイトにてご確認ください。

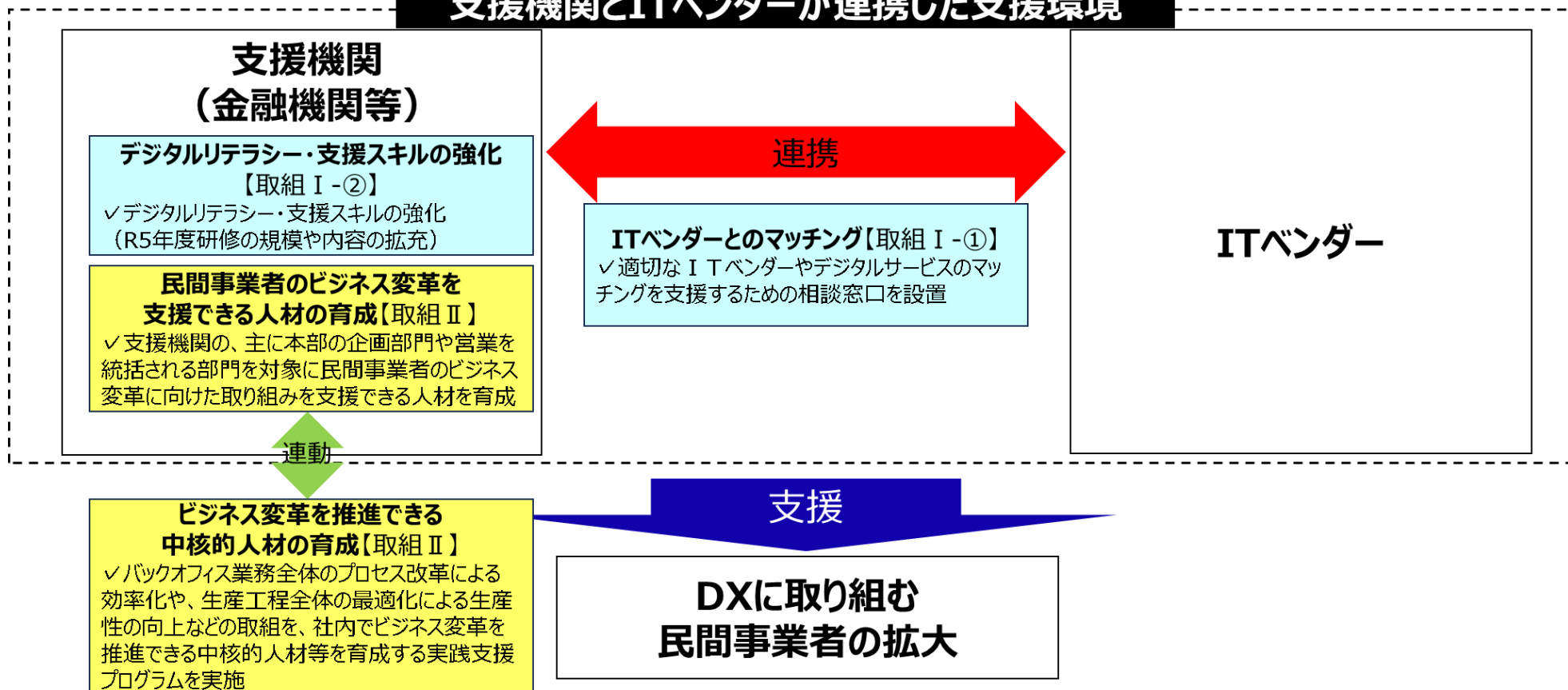
特設ポータルサイト : <https://dx-hiroshima.jp/>



### 3 広島県のDX推進に向けた取組（令和6年度の取組）

- DXに取り組む民間事業者の拡大に向けて、各事業者の現状や課題を踏まえ、それぞれのステップアップに向けた取組が必要になるため、引き続き未着手層の取組を後押しするとともに、デジタイゼーション層に留まっている層のビジネス変革の実現に向けた後押しを行う。

#### 支援機関とITベンダーが連携した支援環境





# 本日の流れ



- 1 広島県の目指すDX
- 2 広島県内の取組状況
- 3 広島県のDX推進に向けた取組
- 4 おわりに

## 4 おわりに

- ✓ 広島県では、より多くの民間事業者の皆さまがDXに取り組めるよう、引き続き後押ししてまいります。
- ✓ DXにこれから取り組む方も、既に取り組んでいる方も、皆さんの取組状況に応じた支援メニューをぜひご活用ください。



# 参考：広島県DX推進コミュニティ

- 2020年11月、デジタル技術やデータの力を有効活用して将来の広島県を創る「広島県DX推進コミュニティ」を創設。県内企業・事業者，教育機関，行政等が参加。

## 《主な活動内容》

### 1 みんなのDX研修

DXは、デジタル技術に詳しい一部の人のだけでなく、組織一丸となって取り組むことで成果が出ると言われています。DXへの正しい理解と実践意識を醸成するため、県内の企業、団体、官公庁にお勤めの方等を対象に、DXの考え方や実践するための基礎を学ぶことができる研修を実施しています。



### 2 経営者のためのDXセミナー

経営者には、社員に任せるだけでなく、ビジョンを示したり、重要な局面で決断をしたりしながら、全社的なDXを後押しする役割があります。実際にDXに取り組んでいる経営者がどのような役割を果たしているのか、どのような苦労をされたのか等を学ぶことができるセミナーを実施しています。



### 3 メンバー企画

DXに関する自発的な学びの活動や相互交流を通じて、互いに切磋琢磨しながらDXを実践していくことを促すため、メンバーからコミュニティ活動(アクティビティ)の企画を募集し、実施しています。



### 4 DX事例研究会

“県内の事例に学ぶ!! みんなで深掘る事例研究”と題し、広島県内の企業におけるDXの好事例を共有し、講師・発表者と参加者による紹介事例の“深掘り”を行う会を実施しています。



活動内容の詳細やメンバー登録については、次のコミュニティ公式HPからご確認ください。

公式HP:<https://hiroshima-dx.jp/>





元気、  
美味しい、  
暮らしやすい  
ENERGY OF PEACE  
ひろしま

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/>